



智弁(奈良)戦へ練習再開

光星ナイン 打撃に重点

夏の甲子園大会で初戦突破した本県代表の八学光星ナインは8日、大阪府高槻市の萩谷総合運動公園で、12日の2回戦で当たる智弁学園(奈良)を想定した練習を始めた。2回戦が初戦の智弁学園は、地区大会で7割近い打率を誇る主将坂下を筆頭に、5試合で計58得点、大会新となる12本塁打を記録するなど強力な打線が特徴。投手陣は主戦山本のほか、長身から投げ下ろす直球が持ち味

12日の智弁学園戦に備え、打撃練習に励む八学光星ナイン(8日、大阪府高槻市)

の小島と緩急自在の左腕西村の1年生2人が好投を見せた。光星ナインはこの日、午後1時から練習開始。前日のミーティングで智弁学園の試合映像を見た

ナインたちは、練習の大部分を相手投手を攻略するための打撃練習に割いた。投手陣は10〜30球程度の投げ込みやストレッチなど軽い調整にとどめた。

主戦山田は「相手打線を無失点に抑えるのは難しいかもしれないが、味方が得点してくれることを信じ、粘り強く投げたい」と語った。
(大久保拓地)